



念願の!!

# 要工場にアニリング室が完成しました!



9月の初旬から準備に入り2か月弱期間を要してしまいましたが、ようやく完成させることが出来ました。考案者である西垣さん、間部さん、施工のアドバイスをいただいた岩間さん、要工場の方々、ご協力して頂いた皆様、ありがとうございました。  
大脇

構想段階より一段も二段も上の素晴らしいものが出来上がり、さらなる作業の効率化、品質向上が望めます。微々たる協力はしたものの、施工のほとんどを大脇さん一人で行い、その大変さは計り知れません。大脇さん本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。  
間部

アニリング室(恒温室)とは  
55℃～60℃の環境下に一定時間置いておくことで、裁断前に塩ビの収縮を意図的に発生させ、裁断後の収縮を抑えることを目的とした部屋です。

## 学びと実践

森 直樹 (代表取締役社長)



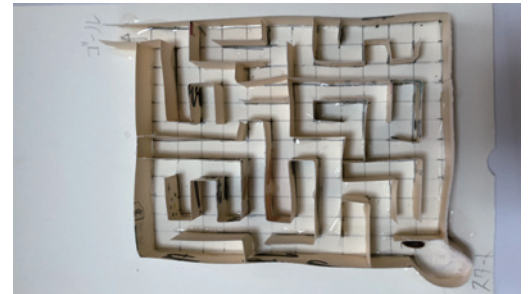
先日、大阪府門真市にある「松下幸之助歴史館」を見学しました。各種資料や展示で、改めて松下幸之助の功績と経営哲学を知ることができた貴重な機会でした。パナソニック(旧松下電気産業)創業者である松下幸之助は一代で連結売上高7兆円、従業員27万人のパナソニックグループを作り、またPHP研究所、松下政経塾を設立し人材の啓蒙・育成にも注力しました。あまりにも身近な存在であるパナソニック製品、また書店で目にするPHP研究所の書籍も一個人が自宅で創業した企業から始まった事を思うと、その偉業を改めて感じる事が出来ました。同社が現在も掲げている綱領には、「...社会生活の改善と向上を図り、世界文化の進展に寄与せんことを期す」とあります。遠大な目標と理想を掲げ、実際にその様な企業にまでにしたことは、ビジョンを持つ事で、それがいかに人を導いていくかを体現しています。見学の帰りに、同館のショップで著書の「道をひらく」を購入しました。携帯し、ちょっと空いた時間に読んでおります。企業の規模の大小に関わらず、経営において大切なことは変わらないと思います。それを少しでも学び、実践していきます。

## ダン止め

牧野 光昌（企画営業部）



2018年12月いよいよ平成最後の師走がきた。平成最後の大晦日や正月も近い。この時期に紹介されるのが『今年の流行語』ですが、ノミネート発表にあった『カメ止め』って何？ シリさんに聞いたら、インディーズ映画のタイトルで『カメラを止めるな！』というゾンビ映画とのこと。300万円の予算で作った映画が30億円の興行収入を上げたという事ですが、まだ上映中のようなので、もっと増えるんでしょう。私は観ていないので内容は分かりませんが、楽しそうな映画ですね。さて、私の今年の楽しかった事は、と考えました。『うーん、ダンゴ虫かなあ。』小学校2年になる娘の長男と一緒に名古屋市科学館へ行った際に得た知識が『ダンゴ虫はジグザグに逃げる。』です。右左右左と交互に向きを変えて逃げる事で、少しでも敵から遠く離れられる、という習性ではないかとの研究員の説明でした。それを翌日、実際に試そうとなり、写真のような迷路を二人で作りました。道幅12mm、壁高12mm、外周144mm×144mmの迷路です。1時間半かけて迷路を作成してから、庭でダンゴ虫を探して、さあ実験開始です。右下の丸い部分にダンゴ虫を置きますと、歩き出したダンゴ虫は最初のコーナーを右折し、次は左折、その次が左右どちらにも行ける突き当たりですが、きっちりと右折しました。結果、触覚が正常な団子虫であれば、90%以上の確立で右折、左折を交互に繰り返して出口へ到達したのです。それをスマホで動画に納めて、正常に迷路脱出したダンゴ虫の平均脱出時間は10秒でした。すばらしい！興行収入はありませんが『ダンゴ虫を止めるな！』、略して『ダン止め』を一日かけて楽しんだ夏の日でした。



## 高年齢？

加藤 雅昭（企画営業部）



私のバイクは1988年製、今年で30年である。結構いろいろなところへ行った。北海道、北陸、中部、四国、このバイクで行ってないのは九州だけ。（九州はこのバイクの前のXE50で回ったが）しかしさすがに寄る年波には勝てない。どうも調子が悪いキャブ、タッチが悪くなったブレーキ、人間でいうと呼吸器と足回り、人もそうだが機械も調子が悪くなる。意気込んでキャブの調整を自分でしてみた。全てばらして灯油で洗い磨く。これでいいはずとくみ上げてみるが高速域で息継ぎが出てしまう。今度はキャブクリーナーを使いしっかり洗浄したつもりが今度は低速域でエンスト。パッキンを噛んでしまいまた新たにパッキングを購入し組みなおし。できるはずだったんだが...。そこにフロントブレーキの食いつき、ブレーキキャリアを外そうとすると長年の金属疲労もあり、ボルトがポッキリと...。うーん、だんだんめげてくる。これはちょっと休憩と真空管アンプのノイズ対策にあたってみる。真空管は新品に変えたが本体はそのまま、ノイズのもとを探すが、空中配線、すべてを追い半田してみるがちゃんと付いているのか...。真空管のソケット回り、ボリュームなど接点研磨剤で拭いてみる。しかしボリュームを上げるとまだ音割れがする...。コンデンサーの抜けか？テスターでいろいろチェックするが原因不明。うーん、またまたこれもめげてしう。スピーカーも38年選手。こちらは接点等磨き上げ、調子は良くなったが、スーパーツイーターのメッシュガードに錆が。プレーヤーのアームは40年選手。水平・直角ちゃんと出てるか？高年式のものを使うのは大変だ。機械ものもそうだが体もさすがに58年無理をさせてきていたので、だんだんぼろが出てきてしまった。これもすべて年だからだけではないが、もう少しメンテをしっかりして使っていないと体はスペアがないので今の交換が聞かない。サイバネティック・オーガニズム、もう一部は運用されているが、これからもっといろいろな部位に使用され、快適な生活を送れるようになるのかな体も機械もしっかりメンテナンスして、まだまだ使わないとね。

## メタボ対策

岩間 正美（森松産業）



今年6月の健康診断でメタボリックシンドローム予備群と診断されました。確かにどんどんお腹周りが成長してズボンもきつくなってきて、ワンサイズ大きいズボンを買わなくてはと思っていました。妻や娘から見苦しいお腹を何とかするためジムへ行くように勧められていましたが、行くのが面倒なので特茶を飲み（現在も続けている）、わざわざジムへ行かなくても家でできるトレーニングを調べ、毎日帰宅して20分くらいかけてスクワット、腕立て伏せ、体幹トレーニング、骨盤矯正体操などを行っていました（食事制限はしていません）。毎日TANITAの体重計で計測していましたが、痩せるどころか体重が増加していくではありませんか。さすがにこれ以上太ってはと一念発起し、半田市営のトレーニングジムへ行くことにしました。設備は、血圧計、体脂肪計、エアロバイク、ランニングマシン、ダンベルなど各種トレーニング機器30種34台（血圧計等4台含む）があります。8月末に講習の予約を入れ、トレーニングルーム使用時のマナーやマシンの使用方法を教えてもらい、その後は1回300円で使用可能で、トレーナーも週に3回夜間だけいますが、指導を受けたことはありません。9月と10月は毎週休日に1回ジムへ行き、1時間～1時間半くらいランニングマシンから始め、各マシンを使って全身を鍛え、夕食時の炭水化物の摂取を控えるようにしました。ジムへ通いだしてから直ぐに効果が表れ、現在では体重が68.5Kg→65Kg前後になりマイナス3.5Kg、BMI24.3→23、体脂肪率24.7%→21.5%、内臓脂肪レベル13.5→12.5、体内年齢53歳→49歳となりました。10月末からは、週に1～2度（平日の帰宅前と休日）ジムへ通っています。まだまだ、お腹も出ていますが改善されていることは確かなので、来年還暦も迎えるし、足腰も段々衰えていくだろうから、これからもジムに通い筋トレを継続していこうと思っています。



## 娘から学ぶ

村橋 敦士（総務部）



社会人となり、結婚し、子供にも恵まれた中で、殆ど遠出もせず、休日は家族揃って所属しているチームにてテニスをするのが日課となっています。「スポーツで汗を流す」と言えば、聞こえは良いですが、実際は遠出するのが面倒と思っている自分がいます。しかし、娘も4歳となり、好きな事・嫌いな事など、自己主張が強くなってきた中で、CMで流れている「ディズニーランド」を見て、「行きたいな」と見る度に言うので、出不精な私も一念発起して娘と2人一泊二日で行ってきました。私にとっては20数年振りのディズニーランドであり、人の多さに圧倒されていましたが、娘は終始楽しそうに過ごしていました。私は人ごみに圧倒され、迷子にならないか娘の動向を伺う事が先決となっていましたが、娘にとっては4年間生きてきた中で初の出来事。ディズニーランドを満喫しようという小さいながらの気概もあり、娘にとっては貴重な時間を過ごし、良い思い出になったのではと感じています。実際、娘は家に帰ると妻に何をした、誰にあった等、事細かに説明していましたが、私にとってはディズニーランドに行った事は覚えがあるも、そこで何を食べ、何に乗ったのかまではやや怪しい。生きてきた中の「たった1日」に留まってしまいました。「されど1日」と思い、もっと満喫する方法があったのではないかと今さらながら後悔しています。10年後・20年後に子供から「あの時は〇〇だった」などと言われたい為、充実した1日をより多く過ごせる様に、娘を見習わなければと感じました。



## 愛知サマーセミナー 2018

久野 絢一郎 (配送部)



7月14・15・16の三連休で愛知サマーセミナーというものに参加してきました。これは例年夏休みに入る前の三連休に開かれるもので、会場は私立高校やその周辺の大学などが多いです。無料で参加できます。毎年参加している私はその3日間で武道・格闘技のセミナーに参加しました。14日は護身術、15日は高蔵高校の合気道部の合気道、心身統一合気会と呼ばれる流派の合気道、カンフー、16日は少林寺拳法、太極拳、大東流合気柔術を学びました。もちろん武道・格闘技の他にも“君の名は”で有名になった組紐作りや中国語講座などもあります。現在、名古屋商科大学の空手部で専属コーチをしている私は、学んだ他流の技などを組手に取り入れ、後輩たちに教えたいというのが一つでした。特に私の空手の師匠である現在の総監督は少林寺拳法の前蹴りほど組手に有効なものはないと認めているほどなので、かなり私自身も期待した上でセミナーに参加しました。現に、他の武道は空手と通ずるところもかなりありました。またそれだけでなく、他流の空手家や合気家、少林寺拳法の拳士とも仲良くなりました。他流の空手家の人とはセミナー後にお互いの技の交流を深めました。特に高蔵高校の合気道部の顧問の先生には毎年参加していることもあり、スティーブンセガールがよく使っている技(名前は忘れた)も教えてもらえました。私の場合は武道ですが、1年に1回このような形で会うのもかなりいいものだと感じました。初心者の方でも気軽にできるので皆さんも来年是非サマーセミナーに参加してみてはいかがでしょうか。

## 開運効果もあり！？発酵食品

河嶋 桂子 (東京オフィス)



近年、腸の調子を整えると関心が高まっている発酵食品ですが、納豆・ヨーグルト・味噌・キムチなどがすぐ思い付きますね。「ぬか漬け」「みそ漬け」「かす漬け」などの漬け物も美味しい発酵食品です。これからの寒い季節、甘味やみずみずしさが増して美味しくなる大根は、その栄養価の高さや料理の幅広さで季節を問わず家庭で重宝な野菜です。そして大根は、漬け物にしても美味しく、「べったら漬け」という食べ方もあります。この「べったら漬け」は、砂糖または水あめ、米、米麴で出来ているんです。砂糖または水あめと麴で漬け込むため、衣服に「べったりつくぞ～」と言われたことから「べったら漬け」と呼ばれているとのこと。その材料からも分かるように、ほのかな甘みが特徴の漬け物ですね。起源は江戸時代中頃の「べったら市」という伝統行事です。毎年10月19日、20日と東京日本橋の宝田恵比寿神社とその周辺で開催されています。数百件の露店が店を連ね大盛況で、下町の秋の風物詩でもあります。宝田恵比寿神社の門前で20日の恵比寿講にお供えするために、前日に立った市で、魚や野菜などが売られるようになり、なかでも浅漬けの「べったら漬け」がよく売れたことから、いつの間にか「べったら市」と呼ばれるようになったとか。実は「べったら漬け」は東京の特産品なのです。「運がべったりつく」と言われるなど縁起も良い「べったら漬け」はもちろん発酵食品の一つです。麴の代わりに市販の甘酒でも作れるそうですので、家庭の大根料理の一つとして試されてみるのも、開運にそして健康にもよいかも知れません。

